



東京都立大学 子ども・若者貧困研究センターでは、「子どもの貧困」に関するさまざまな学術分野の最新の研究を紹介し、学術分野の垣根を超えた研究交流を目指して、定期的な研究会を行っています。

今回は、生活保護世帯の高校生に対するインタビューから、中学以前に学校生活上の不利や困難を経験した若者たちがどのようにして高校生活に定着していくのかを明らかにした研究を紹介します。

高校生活への定着がテーマとなっていますが、生活保護世帯の若者をどうやって学校に適応させるのかについては主要な関心とはなっておりません。本報告では、学校生活上の不利や困難を経験した若者たちについて、既存の学校教育に適応させる対象ではなく、問題提起や要求を行う主体として捉えています。生活保護世帯の高校生を一人の主体としてみなし、かれらが学校に何を求めているのか、なぜ学校はかれらにとって「通うに値する場」となったのかについて論じます。

日時： 2023年5月10日(水) 18:00-20:00
**報告： 『生活保護世帯の高校生の学校生活への
定着に関する研究』**

報告者： 三浦 芳恵（東京都立大学 子ども・若者貧困研究センター 特任研究員）
ハイブリット開催： ZOOM

対面： 東京都立大学オープンユニバーシティ飯田橋キャンパス
（東京都千代田区飯田橋3-5-1 東京区政会館 3階 35教室）
（人数を制限して対面での参加も可能としました）

下記より QRコード又はURLよりお申し込みください（5月10日まで）



ZOOM 申込

<https://zoom.us/meeting/register/tJwkdOugrDMrEt3X3bXxfW8Refu0-iDmeE1M>



対面申込

<https://forms.gle/19xHakkVvRDfZyVM9>

お問い合わせ

東京都立大学子ども・若者
貧困研究センター

E-mail: rccap@tmu.ac.jp

（担当者 松原）